(廿二日夕刊)
休刊 大祭 第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料 二行五十錢(指定廿錢增)
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

ものいふヒルム

發聲活動寫眞に就て

科學の進歩は停止することなく彼の無線電話即ち「ラヂオ」の原理の發見を以て全世界に雷名を轟かしたる天才發明家米國理學博士デ。デフオーレスト氏は八ケ年の歳月と巨費八百餘萬を投じ苦心研究の結果遂に「ものいふヒルム」即ち發聲活動寫眞を完成發表して斯界の耳目を振動せしめました。此の「フオノヒルム」は從來のカメラフオンやキネトフオンの如き蓄音機を原用して映畫と合せたのではなく「ヒルム」自身が「ものをいふ」のであります從來蓄音機を用ひて映畫と合せるものは如何に細轉の調節を計りても映畫、音響の調子を取るには困難な爲め理想的なものなく今日の斯界から姿を消しました。此の「フオノヒルム」は前者の樣な低級無味なものでなく「音響と映畫」とが一つの標準型のヒルムに藏つて居ります。其音響はヒルムの片側に水平濃淡な縞目となつて記録されてあります。此の縞目を通する光線に電氣的の衝撃を與へると光波と電波と變り更に音響と代つて聽衆の耳に肉聲同樣に傳へられます。縞目の幅は僅一吋の三十二分の三でありますから映畫面に少の邪魔にもなりません此の狹少な縞目からして肉聲の五萬倍迄大聲を發する事が出來ますから實に驚く外はありません。此の「フオノヒルム」は[illegible]畫面が現はれると同時、[illegible]秒の狂ひもなく音響や作奏開かれます。先般東都新橋演舞場で「フオノヒルム」の初公開として名優松本幸四郎師の素襖落が映されました、時には帝劇の舞臺其儘杵屋六左工門、寒玉、三味線長唄其他の作奏樣々、活動寫眞[illegible]か出ますので非常な好評で觀覧料が十五圓と云ふ高價にも不拘連日の滿員でありました事が此「フオノヒルム」が如何に驚異的發明のものかを雄辯に物語るものであります

チユウリツプ

井口昇

花びんにさゝれた二ツの花
だ花のやうに
淋しげなチユーリツプの花
だよ
色は紅に白
小さな葉が三枚
狹苦しい部屋だよ

×

もう、とばりはおちた
暗い晩だよ
い森の上で夜鳥が
しよんぼりと鳴いてゐる
亦い電燈は
ほのぼのと光つてゐる
風は淋しさうに
小守唄を唄つてゐる

×

二ツ花の會話だよ
私は久らくきいてゐたよ
一方の白いチユーリツプ
が散る、時が來たのか
音もせず
一輪、散れた

講談 闇の男達

(94) 島田涙川作 尾崎雪麿畫

金五郎大變だ

おちこ首を衣服の袖につゝみ二人は共に上州屋へ歸り誰にも語らず寢についた

翌朝亭主を招き

「昨夜造福寺とやら申す寺の裏道を通りし一人の武士、何者かだましうちにされたを見受けた、早速お屆けをいたしくれ、それにつきもし引取人なくば通り合はした緣もあり死骸は拙者に下渡し下さる樣お願ひ申してくれ」

正春は宿の亭主に話す

「ヘエッそれは大變なことでございます旦那樣に何かお心つもりがございますか、とに角町奉行の成田眞十郎樣へお屆けいたしまする」

早速その手續きをするまだ早朝のことゝて奉行所にそれを知れてゐなかつたさつそく下役人を造福寺の裏道へやれば一人の武士が殺されをり首がないから誰ともわからない衣類その他より今度殿が京都よりつれ歸りになつた飯島左門と分つた。

なぜ飯島が殺されしか段々取調べ末大和田主膳と試合の件がわかるそれ主膳の屋敷へ役人を派して見ればちやうど前日夕刻より食客の立花小十郎と共に逐電し屋敷は空家となつてゐるさては兩人が試合に勝利を得る見込みなきを見て兩人示し合はせ暗討にせしものと判明し兩名の行方を搜索したが知れぬ百般の知識が進んだ大正の今日すら殺人犯人の捕へられぬは全國を通じ少くない事、まして德川幕府の元祿時代警察組織など不完全なる時代、[illegible]國へ逃走しまへばマア逮捕は困難ある左門の死体は願ひ任せ正春に下げ渡さることゝなつたから造福寺へ葬り讀經回向を叮重に修め首級はひそかに塩漬とした敵が當地にをらぬ上は松代に用件のない三人とも角一應江戸に歸り金五郎にこの變事を傳へねばならず、三人は江戸へ引返し一應平岡の屋敷にたちつき大森へ人を遣はし金五郎を招いた。

金五郎はもとより斯る大事のあらうとは知らぬ小源太の行在でも分りしものかと早速江戸へ行かんとする

「金五郎さん江戸へゆきなさるなれば誰か若い者を二三人つれていつてくんねえ金五郎と云へば今江戸での達士仲間でも大低知れ渡つてるそれが己の內を出てゆくに若い者の一人もつれさずし出したといつちやア第一己が笑はれる」

藤兵衛は金五郎に注意した。

「有がたうございますそれならちやとも角二三人借りて行きます」

友造と七助に三太を伴ない道を急ぎ江戸番町は平岡の屋敷へくる、さつそく奥へ通さるゝ正春は今迄たゞ自分の弟子とばかり思つて居たが今では[illegible]であるといふことが知れたからなんとなく改まつてゐる

「先生道中はいかゞでございましたか、小源太の行在は分りましたか」

「イヤそれより小源太より今は大變なことができその方を呼びよせた、大膽者のその方まさか氣絶もいたすまいが、しかし大變なことができたのだ」

「先々その大變とは何事でございますか」

「先づその方に聞きたいのは今日まで心づかずにをつたがその方國を出る時嘉平から何か大切なものを渡されはしないか」

「ヘエさう云へば嘉平ちゝが實父から預かつた村雨丸の名劍にとつて渡してくれました、それだけでございます」

「さうだそのことだ只今拙者がこゝに所持なすこれなる銘劍と少しも違つたところはあるまいどうだ」

示された銘劍を手にとり上げた

「フムこれぞ養父嘉平より承りし紀州東國の一刀これをご所持の先生はもしや父左門にご身寄りの方ではございませぬか」

廣告

平町田町通り
磐城病院
電話一二四番

突如廿三日より二日間限

問題の發聲映畫大公開

◆見よ好期!!人類科學文化の極致を◆

從來の蓄音器應用にあらず ラヂオの發明者デ、デフオーレスト博士苦心發明完成せるもの

見よ科學の進化、數十人の奏ずる音響も唱歌も鳥の聲も更に數十萬人が歡呼の聲も波の音も風の呼びも宇宙に生ずる總ての音響は物体の撮影と同時に其のフヰルムに納められ映寫に際し映畫より眞の肉聲を發す。

◇賜天覽◇

もの云ふ寫眞

世界の驚異

發聲映畫

普通入場券割引券御斷り

特等 壹圓
壹等 七拾錢
普通 五拾錢
小人 各等半額

平館

發聲映畫七種

東京名題 松本幸四郎出演

素襖落(すおうおとし)

太郎冠者…松本幸四郎
次郎冠者…市川升藏
三郎吾…松本錦四郎
三味線…杵屋寒玉
唄…杵屋六左工門

酒井準之助と其一黨

大劍爭映畫

生門死門 全七巻

斯界の泰斗 生駒雷遊 說明

幻想の印度 曲 高田雅夫 原せい子

タカダ舞踊團 鏡

陸軍戸山學校軍樂隊吹奏 スペアミント六段 指揮樂長 辻順治

小品舞踊 影 花柳德治

河原崎權十郎 川島靜子主演

マキノ大映畫

彼は復讐を忘れたか

帝都新進 仙石雷溪 說明

正確な体温器と寒暖計は親切な
山野邊樂店
平町五丁目角

日東のラジオ

最新高級のラジオ製造販賣 並に部分品提供

當分の間 奉仕的破格値段

三球セット取付共
A 百貳拾五圓
B 百圓
C 七拾圓

御用命次第店員をお伺ひ致させ懇切御相談に應じます。

平町白銀町
日東商會
電話四二八番

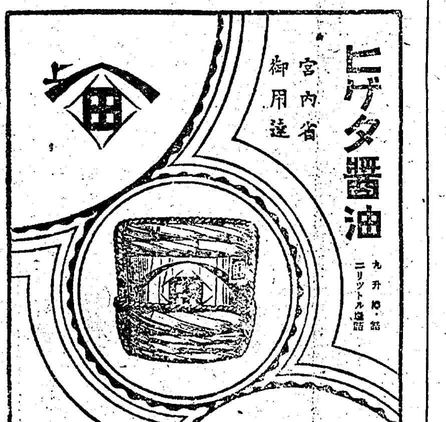
東京松坂屋出張大賣出

毎々格別の御引立を賜りまして有難く御禮申上ます此度も亦季節向御用承はりかたがた左記の通り錦地に御伺ひ致します弊店特選の優良新柄絹綿布類を始め雑貨新製品に至る迄、夫々豐富に取揃へ持參仕りますれば當日は賑々しく御誘ひ合され御來場一入御引立の程偏に御願申上ます。

時――五月廿三日、廿四日(兩日)

二十四日は午後正午閉店仕りますれば御早く御來駕御待ち申上ます

場所――平町紺屋町 住吉屋旅館



特約店 廣瀨支店
平町田町
電話五四番

登錄商標

醸造元
福島縣平町
山崎合名會社
電話(營業部一〇番 釀造工場二七番)
振替東京一九七五五番

東京支店
上野車坂町四三
電話下谷五七二二番
振替東京六八三二二番

診療開始

外科 花柳病科 專門
木村外科醫院
平町六丁目橋際(元○久材木店跡)
入院自炊ノ便アリ

磐城銀行 破綻から 遂ひに營業休止
有力銀行と合併するまで 草野支配人聲明

昨年以來中央財界の餘波を蒙つた地方金融業界に極度打擊を受け福島商業銀行を初め百七銀行等本縣の代表的銀行が片つ端から破綻を生じ地方民が銀行に對する危惧と不安念にかられる當然の結果として引き續き緩漫な取附けに會ひ各銀行當事者は之れが對應策に腐心してゐた折柄平町磐城銀行に於ては二十一日仕拂停止を行ひ二十二日より向ふ二週間行務整理の爲め休業する事となつたが右につき同行支配人草野順平氏は二十二日正午同行頭取室に在平日刊新聞記者一同を引見し休業に至るまでの經過を大体左の如く報告した

昨年當銀行と密接な關係に在つた東京中澤八十四の兩銀行の破綻により約二百萬圓の預金の引き出しに逃ひ更に吉野周太郎氏の破綻により縮けざま資金回收困難に陷り遂に休業の止むなきに至つた事は恐縮の限りであります 具体的な事は重役會の決議に依たねば言明出來ませんが目下東京の某有力銀行と合併の交渉中にありまして預金者に迷惑を掛けぬ樣一日も早く解決すべく努力中でありますから暫らくの御猶餘を御願ひ致したいと存じます」云々

平理髪業組合 紛糾
役員改選難關

平警察署管內理髪營業組合長菅野長重郎氏は病氣のため辭職したので第三部役員新妻末吉外三名はさる十八日菅野組合長宅を訪問會見し上留任を懇請種々意見を交換したが管野組合長は病氣の理由に固辭して聞き入れぬので右役員等は何か感ずる處ありとて總辭職を申出でたが後任組合長問題で相當揉める模樣である

平町地方の昨今 煙草は安物歡迎
一日平均二千圓が煙り 敷島の需要激減

石城郡內に於ける去月中の煙草ノ消費高を平町煙草元販賣所で調べると兩切が一番で二十二分二千二百九個を數へ次が口付の十四萬六千六百八十四個、刻み萬九千五百と一個と言ふ割合であるが更らに種類から見れば流石に不景氣で數年前までは勞働者煙草と言はれたバットが最高の二十一萬五千五十個次ぎが朝日の十萬七千九百六十個となり數年前までは一般向として常に第一位の賣上を見せてゐた敷島が僅に三萬六千五十個を數へるのみで更らに刻の方を見れば此れも卷煙草同樣安物全盛で總高が一番安いナデシコの五匁三萬二千二百四十六個次がアヤメ五匁二萬四千八百二十個と言ふ順で水府とか薩摩と言ふ樣な高級品は始んど觀られず僅に十個內外であるのを見れば不景氣のせいばかりでもなく一般に地味になつて來たものとも想はれる賣上總高は五萬二千八百八十三圓五十二錢と言ふ巨額で先ず毎日千七百六十餘圓が煙になる譯である

飯野村荒川の貯水問題解決
入山炭礦が三千圓を投じ 近く工事に着手

石城郡飯野村上荒川地內に在る大溜池は同字方百町步餘の水田に灌漑する重要なものであつた處三年前より漸次水量が減じ昨年の如きは水田の大部分が水不足をうけ多大なる損害を來したので

村當局は之等被害村民と共に調査した結果湯本町の入山採炭株式會社の第五坑がこの溜池附近まで掘進した爲めにこの悲慘な狀態を來したものと認め昨年十月頃より會社に交渉せるが會社側にては當初これを否認し交渉遲々として進まなかつたが地方有力家や郡農會の仲裁にて會社側では技師を派遣して數ケ月間に亘り實地調査せる處果然村民の主張せる如く會社の

第五坑が此附近まで掘進し坑內の水は揚水ポンプを以て藤原川に放水しつゝある爲め溜池に水が湧出せざるに至つた事實が判明したので會社にしては今回他の個所に費用約三千圓を投じて用水溜池を設ける事に決し兩者の妥協が成立したので本月中に工事を開始し來月下旬には大体完成する由

傳說 ……(八)……
續內藤家騷動と 大浦狐塚の由來
北條時賴の歌に詠む 數千の狐を殺す

さて 一方松川、瀧本の二人は好間まで落ちのびたもの〻後より來る追手を覺悟をきめ赤井ケ岳へ登り藥師堂に入つて自殺せんとするを別當に押し止められ內陣の中へとかくまはれたが程なく松賀忠右衛門部下を率ゐ來りて內陣に踏み込まんとするを別當早速の機轉「この中へは四十八日の行をなさねば入る事かなはず、いはんや凡俗の身として即座に入らば神罰立處なるべし」とまことしやかにゴマ化せば低能居士の忠右衛門尻尾をまいての退散にからくも助かり高野山に上つてなき友の、ぼだいを弔らつたが平では地元だけに詮策のきびしさは一としほ平八の九八郎の死体をかくまつた事が發覺して松賀の讒にかゝり義概公より死を賜ひ武士の誓ひを達し得た滿足さに笑つて死についた

彥右 衛門の妻は夫の死後女子を生み島出利兵衛に嫁しづいたが彥右衛門の落としだね成長して島田利助と名乘り後の松賀伊織正元の陰謀に組してわが子源吾衛門と反逆の血潮の流れた親子ともども下郎彥六の打首になつたがめぐる小車因果のむくいだと傳へられてゐる

而し て次に石城郡大浦村に狐塚と呼ばれてゐる處がある鎌倉幕府の昔飛ぶ鳥も落とす權勢の執權職鉢の木で名高い北條時賴が東地漫遊の途中たま〱足を松魚原に留めいそがぬ旅に野營ケ張つた、時は卯月の末つかた野の面をたゞよふ草や花の香も生き〱と大地に影を映すほど濃くゆらぎにゆらいで立のぼつたかげろうも薄い煙りのような水蒸氣がまつはりついてたそがれの弱い光線がたゞよひ初めた春の日夕べ……

元 來 詩情佛心に富んでゐる時賴もこうした大自然の溫容に接しては俗塵にまみれ天下の武門に權勢を張る鎌倉幕府執權職の榮達も何のその空虛なもの〻ように思はれて近習の侍なども退けてたゞうつとりと夢心地うつら〱の夢路にはいつた頃どこから現れたか數千の狐が群をなして營外に集まり悲鳴をあげて自分に何物かを訴へるようである

夢 か らさめた時賴は早速歌を詠んでいはく「春もきつねに舞ふ蝶の唐衣たのれたのれの行末を見よ」と悲鳴はたちまちに止んでまた元の春の夜の靜じやく……夜が明けて營外に出てみれば數千の狐はこと〲く死んでゐるので從者をしてこれをその地に埋づめ塚となしたのがこれ狐塚の由來で今なほ現存してゐる。

(榎本稿)

平のチブス 再燃の模樣
町當局の狼狽

石城郡地方民を極度に異怖せしめてゐた平町の腸チブスは今月初旬から漸次下火に傾き入院患者四十七名中退院者續出し二十五名の隔離患者を殘すのみとなり全く終熄期に入つたものと觀られるに至つたが俄然去る十七日平町新田町藝妓屋二葉家女將曾川ハナ(三四)が腸チブスと決定し隔離病舍に收容され更らに廿一日午後三時平第一小學校二年生中町舊城跡平松光夫(九)が腸チブスと收容され一時全く終熄したものと喜ばれてゐた腸チブス騷が茲にまた〱再燃するに至り町當局は勿論警察署衛生係りも極度の狼狽を見せ豫防に努めてゐるが愈々傳染病の流行季節たる梅雨期も近付いて來た昨今此の腸チブス再燃は地方民を極度に驚怖せしめてゐる

四倉豊間と 中ノ作築港
當局調査開始

本縣が水產業の振興策としその根本問題である漁港の改修に對する調査を開始したとの事既報の如くであるがその豫定地である豊間、中の作、松川、諸戶、久之濱、四倉六漁港中調査係長である山口技師は先に中の作港に出張調査の下準備を整へ北村技手をして調査せしめてゐるが更に山口技師は今回一ケ月間の豫定で松川浦に出張し同橋下準備中にあり同時に高橋技手を二ケ月の豫定 滯在調査せしむることゝなつた次ぎは豊間、諸戶の二港であり久之濱四倉兩港は最後の豫定となつた

直ぐ尻尾を出した 尼子の女車掌
洋服をはかれて泣く〱 平署の愁嘆場

洋裝姿凛々しく街頭に現れ出した平町字新町尼子自動車部の女助手として田山まつの(二九)については既報の通りだがこのモガは茨城縣鹿島郡新宮村大字鎌田弟太郎の長女てつい先ごろまで實家で家事手傳へをしてゐるうち或畫報で洋裝姿の女助手の寫眞を見てから運轉手病にとりつかれ天晴れ運轉手にならんと去る十四日現金を持ち出し長年の憧れである洋服をかい込み平町に來りうろ〱してゐるうち尼子自動車部の運轉手山口四郎(二二)と知り合となり早速賴んで助手に採用され同人と夫婦氣取りで運轉臺に乘り助手を つとめてゐたところ實家では風の便りに平町にゐることが知れ二十一日兄が來りつれ戾さんとしたが奴さん「どうしても歸らぬ」と頑張り遂 說諭願となつて平署に出頭願々その不心得を諭されたがなか〱應せずに實兄を手古摺らしたりついに泣く〱つれ戾された

撞球月次會
平町マルト球場で

高尚な屋內スポーツとして最近異狀な發展を見せて來た平町地方の撞球熱は去月初旬から新裝を凝らして開業したマルト、スズランの兩撞球場が開業以來加速度の勢で風靡するに至つたが田町マルトビリヤードでは撞球趣味の普及を目的として月次會を開催カップの爭奪戰を舉行する事となつたが此れが第一回月次會は來る廿七日正午から舉行する事となりカップを目差して天狗連は猛練習を續けてゐるが內に現カップ保持者は中驛北郷重孝君である

今年の流行
松坂屋出張員談

今年服裝界の流行に就て明二十三日より市內住吉屋旅館に出張する東京上野松坂屋出張員成瀨三吉氏に其ノ概要を叩けば「本年の流行色としてはコバルト(納戸色)が全盛で此に對照に引立ちもよく調和もよいものとしてアップリコット(あんず色)が選ばれて居ります、さうして是等の流行色は必ずしも幾色のみに限らず模樣の部分的にも全体的にも色を活かすやう自由に用ひられる樣になりました模樣の樣式は新しい時代の實生活に適合し其の環境に調和する樣特徵を具へた「新日本模樣」が迎へられて居ります服裝の模樣として和洋新舊の區別なく異つた新らしき一の時代樣式の創生が望まれて居ります」云々

盛んに風紀を亂す 平町の私娼
魔の手は宿屋へ延る 取締り一層嚴重

炭礦界の消長によつて町活況が左右される平町は屢報の如く附近各炭礦が未曾有の行詰りに遭遇して苦境にある折柄で一般市況の沈滯は甚だしきものがあり就中これが直接の影響をうけて顯著なものは花柳界のさびれ方であるが昨今の花街のさびれ方は話にもならない程で寂喰ふ私娼の跋扈を甚だしからしめ、從來は街頭で客引と稱する一種の誘惑を試みた位のものであつたものが最近ではこの風がます〱露骨になり甚だしきものに至つては出張營業をなすものがある、即ち二流以下の或宿屋と特殊契約を結びその宿屋からの通知によつて投宿客の相手をなし風紀を紊してゐるといふ有樣で警察當局でも右の噂をきゝ目下これ等不良の酌婦共を內偵中で今後酌婦取締は一層嚴重にする方針である

安齋外科醫院
田町大通りに開業

慈惠醫學士安齋徹氏は今回平町田町大通りに醫院を開業し一般診療に從事することになつたが診療は外科專門で脫腸、肛門、花柳病等に入院希望者には完全な病室を整へた、因に安齋氏は慈惠醫科大學を卒業後群馬縣下に於て診療に從事し數年前外科醫として有名な福島市大原博士の大原病院に入り外科を擔任し手腕を認められてゐた人である

五十九尺の手紙
高木新平一行不始末 宿料延期の願ひ

一筆啓上火の用心の簡單なことが喜ばれる今日これは又平署開闢以來、記錄破り或ひは日本での 記 錄 を作るかも知れないといふ長い長い紙の二十一日平署へ投込ま た、手紙の中か眞正眞銘で江戶川大卷二本を繼ぎ合してなほ足らじ更に三尺ほどつぎ足して五十八尺八寸これを克明に讀んだものは平署の松本警部補只一人で讀了、所用時間實に一時間二分、郵稅 書 留 で廿四錢この氣違いじみた手紙の差出人は「千人斬り」で一時聲明を走らせた元女優、新聞記者、女中、藝者と女のあらゆる職業をつとめ現在は緣物講習會 講師幽蘭事木莊ひさよ(五〇)で內容は同人が關係してゐる高木新平プロダクション一行が去る三月活動巡業中失敗に失敗を重ね石城郡小名濱町橋本屋旅館の宿料 支 拂 に窮し支拂はずに出發したため橋本屋では告訴するも遲延したのでこれが延期方を平警察署を通じて橋本屋に話て貰ひたいといふのであつた

奔馬怪俄
馬車滅茶々々

石城郡入遠野村荷馬車挽山中喜作(三五)は二十日午後四時ころ上遠野村からの歸途空馬車に長男繁(一三)を乘せ上遠野村字澤地繫內に差かゝつた際疾走し來たつた久野淺治(三四)の運轉する湯本町高岡自動車店所有自動車の爆音に馬が狂奔し繁は跳ね飛ばされ瀕死の重傷を負ひ奔馬は急坂に驅け上つて同村宮又地內數丈の斷崖から墜落荷馬車は滅茶々々に破壞し馬は兩脚を折つたと

木村氏報告
四倉で演說會

第三區選出代議士木村清治氏、第五十五議會報告演說會は來る二十五日頃石城郡四倉町に於て開催する豫定であると

男教競技會
六月十日開催

石城、双葉、相馬三郡各小學校男子在職教員聯合競技會は双葉郡教育會主催で六月十日縣立双葉中學校グラウンドに於て開催される由である

磐新塔

平消防組頭井上茂作氏は去る十八日仙臺市に開催された東北五縣消防組頭を代表して聯合消防演習に祝辭を述べたその堂々たる祝辭は一千三百名の消防組員を感激させ來賓席には「あれは福島の代議士だらう……多分さうだらう」などといふ囁きまでが起つた、午後二時から公會堂に開かれた東北六縣消防懇談會の席上にても井上氏は五縣を代表して挨拶し「新聞紙を通じて宮城縣民に厚く感謝いたしたいと存ずる次第であります」と述べただが甚だ遺憾であつたことは開會前越野保安課長なにを血迷つたか新聞記者の入場を心よしとせずそれがため一人の新聞記者も出席しない始末で井上氏の各挨拶も縣民には一向通じなかつたトサ。

謹告

本日ヨリ六月四日迄帳簿整理ノ爲一週間臨時休業仕候

昭和三年五月廿二日

株式會社 磐城銀行

改正 片濱乘合自動車時間表

平發	江名發
五時三十分	五時三十分
六時二十分	七時
八時	七時五十分
九時	九時二十分
十時	十時三十分
十一時	十一時五十分
十二時三十分	一時
一時五十分	二時
三時	三時三十分
四時	四時四十分
五時二十分	五時四十分
六時三十分	六時四十分

平のりば 四丁目 和泉屋前 新川町 車庫

江名のりば 沖見屋 電話十四番 松屋

鈴木片濱自動車部 電話二一七 車庫呼出 電話一四二

內科、小兒科(院長毎日診療) 院長 醫學博士 難波睦

內科部長 粟野省三

外科一般花柳病科 外科部長 醫學士 氏家憲介

產婦人科 產婦人科部長醫學士 五十嵐雄二

藥局 藥局長 吉本孝平

本院主事 賀澤忠治 電話七二番

獨逸シーメンス、ユニバーサル、ヘリオドル 最新X光線裝置 五月十日ヨリ診療開始

主任 醫學博士 難波睦

入院自炊ノ便アリ

看護婦募集

磐城共濟病院 平町 電話六四一番

行樂の春!

御散策の御歸りに おみやげはゼヒ オモチヤのいづみやへ

お子樣方の一番喜ぶ 目新しいオモチヤや トテモ可愛いゝ人形が いつも豐富に陳列して御座います

川口式ハーモニカ、大正琴、特價提供!

平驛前 いづみや玩具店

產婆 草野靜枝

平町研町(公園下) 電話(呼)四四三番